

会 報

2017 summer

第120号



<16 連登り窯>写真提供：伊賀焼窯元 長谷園

業界の全体像を見た分析と目標設定へ

- | | |
|------------------|----------------------|
| P2 新役員就任挨拶 | / P4 平成 29 年度定時会員総会 |
| P5 平成 29 年度意見交換会 | / P5 平成 28 年度生涯研修修了者 |
| P6 研修会報告 | / P7 スポーツフォーラム |
| P8 研修・イベント予定 | / P9 普及活動報告 |
| P11 理事会報告 | / P12 新入会員紹介 |
| P12 厚労大臣免許保有証 | / P13 各種案内 |
| P14 災害支援鍼灸師登録 | / P14 編集後記 |

平成29年度定時会員総会で新役員（理事・監事）11名が決定 業界の全体像を見た分析と目標設定へ

会長 一見 隆彦

今年度の定時総会（6月18日：ホテルグリーンパーク津）において任



期満了による役員改選が行われ、立候補及び推薦を受けた11名が役員に選任され、新体制がスタートしました。

会員の皆さんには個々に情報網を持って調査・分析をしながら経営等に活かしていることと思いますが、あらゆる分野でその変化のスピードは驚きを超えたものがあります。

6か月前の会報でも述べましたが、「学び知る」ということについて、机上学ではなく内外双方に目を向けた行動を起こし、気づいたときにはもう遅いということにならぬよう個々の目標を定められたでしょうか。

さまざまな動きを注視して本会事業への反映を考えていますが、冒頭に述べた変化に対応するには会員の皆さんの協力は不可欠です。個人単位ではなく組織で動くことを考えなければ激流の中で的確な

舵取りができません。医療連携が叫ばれる中で、はり師・きゅう師の国家資格を持つプロとして、どのように舵を切って進むかを考えたとき、多職種との協働がいかに大切かを認識すれば、視野は格段に広がります。

決まり文句のように「明日に繋がる△△」という言葉が使われることが多くありますが、それは明日から患者が急増するなどということではなく、日々の努力の連續が結実するということです。個々の臨床現場で学ぶことは当たり前のことですが、多職種との協働など、さまざまな状況下で学ぶことがなければ結実することは難しいでしょう。

全会員の意見や要望を取りまとめて理想形を作り上げていくということは簡単ではありません。しかし、これは避けて通れないことですから、各委員会の担当がネット上で飛び交う情報や、全国各師会が取り組まれている事業で、ヒントになるものがあれば参考にしながら工夫していきます。「県民のための事業＝会員の要望に応えた事業」をいかに実現するかを考えながら、定時総会議案書の各事業を進めてまいりますので、ご協力を願います。

アイデアを突破口に…

副会長
法人管理総務担当 岡田 賢

昨今の鍼灸業界の厳しい状況が続いている原因は、私たち鍼灸師の“無関心”ではないでしょうか？

無資格者対策にしても然り。養成校乱立に伴う新卒者の質の低下然り。鍼灸単独法など法律問題然り。“無関心”で生きていける時代は過ぎました。

鍼灸受療率2桁に届かない現状下、就業鍼灸師及び鍼灸施術所の急増が鍼灸の需要喚起に必ずしも結びついておらず、鍼灸に係るサービス量が需要に対して供給過多に陥っています。受療率を上げるには、普及啓発事業に本気で地道に取り組む以外にありません。

周到な準備と、的確な情報交換による「斬新なアイデア」で、ピンチをチャンスに変えていきましょう。広報・普及と学術のコラボで、地元ラジオ局で「鍼灸の力」とでも題し、毎週放送したら？まずは、前向きに楽しみましょうよ。

“無関心”からは何も生まれませんから。



明るい未来へ

副会長
法人管理財務担当 新谷有紀

引き続き財務を担当させていただきます。正しい判断で会員の皆さんに良い報告ができるよう気を引き締めて務めます。

また、副会長としては組織力を上げることが大きな課題となります。会員の増加も重要ですが、鍼灸師一人ひとりが現状に満足することなく常に将来を見据え、意識の向上に努めることが業界の発展に繋がります。そして、業界の発展は鍼灸の有用性が周知され、鍼灸師の活躍の機会を増やします。

「厳しい情勢とはなにか？」を探ってみると改善策が見たり今後開拓すべきことを発見できたり、私たち鍼灸師には国民の健康のため貢献できることがまだ沢山あると気づきます。そのようなことを会員で意見交換しながら進んでいたら楽しいと思いませんか？未来を語るときは誰でも笑顔になるそうです。会員皆さんの意識向上と明るい未来の手助けになれるよう頑張っていきます。



気持ちを新たに

学術委員長 奥田一道

三重県鍼灸師会の運営に携わらせていただいて3年目となります。自分のペースが何となくつかめてきたように感じています。

先生方にとって意味のある研修、価値のある企画を実施し、少しでも鍼灸業界のお役に立てるよう精いっぱい努めています。

今後ともご指導賜りますよう、何卒宜しくお願ひ申し上げます。



顔を会わせてのコミュニケーション

広報・普及委員長 楠原秀一

「世間話」「無駄話」など、顔を会わせてのコミュニケーションの重要性を感じます。そのための時間や仲間がいることも大切な要素です。

今はインターネットから必要な情報が簡易に得られる便利な世の中になりましたが、顔を会わせての会話が必要であることは変わりません。治療院や本会の行事等さまざまな場面を活用し、顔の見えるコミュニケーションを取りましょう。



「受領委任払い制度」に向けて

保険委員長 天野治

またもや保険部長を引き受けました。30年以上に亘り職責を全うしてこられたのも会員先生方の協力のお陰と感謝しています。

来年度から「受領委任払い制度」が実施されるに当たり、何かお役に立てるのではないかと思い、もう2年引き受けることにしました。

鍼灸治療の発展を保険の面から下支えして、県・市民の受療率を向上させ健康寿命を延伸させるには、保険は必要不可欠ではないかと思います。何時でもお手伝いしますので何なりとご相談ください。



会員の意見を会務に反映

組織委員長 保険副委員長 森田輔

今期から理事を務めさせていただき、新人ならではのフレッシュな目線で会務にあたっていきたいと思います。これまで講習会、市民イベント、意見交換会など会の活動に参加したことがない皆様にもご参加いただき、率直な意見・感想を活発な組織づくりの原動力として



いきます。皆様からさまざまご意見いただけすると幸いです。

医療廃棄物届け出100%へ

共済委員長 加藤はる美

今期は、「医療廃棄物届け出100%」を目標にしていますので、届出をされていない先生は是非ともご協力下さい。



なお、日本鍼灸師会には会員の方だけが加入可能な「日鍼会保障プラン」があります。昨年度から一部規制緩和となりましたので、自身の病気や怪我、災害時の安心のためにもご加入いただけたらと思います。

より身近な鍼灸師会に向けて

青年委員長 広報・普及副委員長 瀧本一

卒業したばかりの私を温かく迎え入れて育てていただき、早いもので9年が経ちました。



今まで鍼灸師会が行うさまざまな事業に対して、もっとこんな企画やサービスがあればいいなど感じていたことや、自身の開業と臨床の経験も含め、鍼灸師会をより身近に、会員同士の距離が近づく企画や広報ができればと思っています。

活動停滞を危惧

監事 竹田博文

5年間監事を務めながら、理事諸氏が会員・公益に資するための業務を必死になって遂行されていることを見てきました。



しかしながら、本会はここ数年新入会者よりも退会される人数が上回っており、財政的にも厳しい状況が続いています。鍼灸師会の活動が停滞すれば、結局のところ鍼灸個人の頸を絞めてしまうのではないかと危惧しております。

会員の皆様には、是非とも本会の事業に参加・ご協力を賜りたくお願い致します。

適正適法な職務執行

監事 仲家栄一

監事の仕事は、理事の職務執行と組織運営が適正適法に行われているかをチェックすることが仕事であります。



これまで15年間理事として組織関連事業を長く務めました経験を踏まえ、監事職を全うして参りたいと思います。今後ともよろしくお願ひいたします。

新体制で始まった29年度の幕開け

総会（出席会員数81名[委任状含]）は、会長挨拶、新入会員の紹介（別項に記載）を行ったのち、議長に大矢会員（四日市支部）副議長に瀧本会員（伊賀名張支部）を選任し「報告事項」1. 平成28年度事業報告の件 2. 平成29年度事業計画の件 3. 平成29年度収支予算の件について担当理事から報告された。

次に「決議事項」1. 平成28年度貸借対照表承認の件 2. 平成28年度正味財産増減計算書承認の件 3. 定款変更の件について審議され、最後に4. 任期満了による役員改選の件について審議され、以下（表）11名が選任された。

（報告：瀧本 一）



岡田副会長による開会挨拶



新入会員 5名による挨拶



賛成多数による議事の採決

新役員と担当一覧（◎は業務執行理事）

会長	一見 隆彦	◎副会長・法人管理総務	岡田 賢	◎副会長・法人管理財務	新谷 有紀
◎保険委員長	天野 治	◎広報・普及委員長	楠原 秀一	◎学術委員長	奥田 一道
共済委員長	加藤はる美	組織委員長 保険副委員長	森田 輔	青年委員長 広報・普及副委員長	瀧本 一
監事	竹田 博文	監事	仲家 栄一		

平成29年度（公社）日本鍼灸師会定時代議員総会

2017.6.4(日) 花田学園

6月4日に行われた定時代議員総会で、本会推薦の2名（仲野元会長と一見現会長）が理事に選任されました。

今回の役員改選に関しては、前回同様理事候補者数が理事定数以内であったため選挙は不要でした。ここまでは前回の改選時と同じです。

前回は議場から「各候補者に対しそれぞれ信任投票を行うべき」との意見により信任投票が行われましたが、今回は代議員に信任投票の賛否を問う用紙が事前配布され、「行うべき」が53票、「行う必要なし」が54票で、わずか1票差で信任投票は行われず、候補者全員が当選となりました。

報告事項に続いて決議事項に進み、代議員からの厳しい質問に各担当者が答弁して、議案すべて承認され定刻に終了しました。その後、場所を移動して意見交換会が行われました。

仲野会長、一見業務執行理事は、今後多忙な2年間になりますので、くれぐれもご自愛ください。

（報告：代議員 岡田 賢・新谷有紀）

平成29年度 意見交換会

2017.6.18(日) ホテルグリーンパーク津

意見交換会には前厚生労働大臣・田村憲久衆院議員、島田佳和衆院議員、吉川ゆうみ参院議員、川崎二郎衆院議員（秘書・浜田秀忠様）、三ツ矢憲生衆院議員（秘書・引地輝樹様）、青木謙順県議会議員、津田健児県議会議員、全国健康保険協会三重支部・真柄欽一支部長、健康保険組合連合会三重連合会・久保法司常務理事、三重県国民健康保険団体連合会・鳥井隆男常務理事、セイリン名古屋営業所・西村直樹所長、顧問税理士・宮本浩文氏の13名の来賓をお迎えして行われました。

会員の皆さんは個々に情報網を持って調査・分析をしながら経営等に活かしていることだと思いますが、あらゆる分野でその変化のスピードは驚きを超えたものがありますが、意見交換会での話題に加わることはコミュニケーション実習と呼ぶ人もいます。

国会議員の皆さんのご挨拶には鍼灸を取り巻く療養費などの関連事項からスポーツ外交や、1年前の伊勢志摩サミットの経済効果まで多岐にわたり、各テーブルでは話題が尽きない様子であったため、予定時間を延長して楽しいひとときを過ごすことができました。



退任理事・新任理事の紹介と挨拶



青木県議、津田県議、関係業者、
顧問税理士を囲んで



田村前厚労大臣、島田代議士、
顧問・吉川参院議員を囲んで



川崎代議士秘書、三ツ矢代議士秘書、
保険関係の皆さんを囲んで



退任の赤井理事（前列左2人目）を
囲んで



田村代議士と新理事、新入会者



退任の石橋理事（後列中央）を囲んで

平成28年度（公財）東洋療法研修試験財団 生涯研修制度研修会修了者

平成28年度の生涯研修制度研修会で規定25単位を取得した会員は以下の11名で、前年度比では2名減になります。今年度も7月末の時点ですべての研修参加者は「6単位」を取得しており、第66回（公社）全日本鍼灸学会東京大会参加者は5単位取得になり合計11単位になります。

天野 治 一見隆彦 岡田 賢 奥田一道 楠原秀一 新谷有紀 瀧本 一
竹田博文 仲家栄一 仲野弥和 仲野有草※
(順不同 ※異動)

平成29年度 学術研修会・青年委員会スキルアップセミナー報告

第1回学術研修会

2017.4.30(日) 三重県鍼灸会館

「鍼灸師に必要な運動学の基礎知識～歩行を中心にして～」

講師：株式会社アーチ代表 松本実生 先生

今年度第1回目の学術研修会は昨年に引き続き松本実生先生に、「歩行評価から見た鍼灸治療への応用」をテーマとし、足部の構造と機能といった基本的なところから、歩行の評価に必要な相対的な関節の運動の概念、歩行評価に不可欠な骨盤の回旋・下制・Swayといった動きの分析方法について講演いただきました。

また、会館を文字通り前から後ろまでフルに使い、実際の参加者の歩行をリアルタイムで分析・解説され、人の生活に不可欠な「歩行」の基礎知識とその評価を学び、鍼灸臨床においても運動学という視点をもってアプローチすることの重要性を再確認できた1日となりました。今回も大変多くの会員の方、また一般参加者の方にお越しいただき、先生方の歩行観察に対する興味関心の高さを改めて感じております。



(報告：学術委員長 奥田一道)

青年委員会第1回スキルアップセミナー

2017.4.30(日) 三重県鍼灸会館

「お灸にまつわるエトセトラ」

今回のスキルアップセミナーのテーマは、ずばり「お灸」。普段からお灸を臨床に取り入れている方、お灸をぜひ取り入れたいけど何年も触っていないので自信がないといった方、また、現在練習中の学生さんなどさまざまな方が一堂に会しました。文献などでお灸に対する理解を深め、またお灸の燃焼温度を測るセンサーを使って普段の自分のお灸の温度を各自測って確認し、それぞれの実技披露を行うなど、まさにお灸尽くしのひとときとなりました。



「Moxa Africa」や「お灸フェス」などで注目を浴び、再評価されている「お灸」を若手鍼灸師にもどんどん臨床に取り入れていただきたいと思います。

(報告：前青年委員長・学術委員長 奥田一道)

第2回学術研修会

2017.6.18(日) 三重県鍼灸会館

療養費等適正申請指導会～保険申請に関わる最新の周知報告事項

講師：（一社）三重県鍼灸師会 保険委員長 天野 治 先生

第2回学術研修会は、療養費に関わる最新の情報や個人情報保護法改定など、療養費申請、普段の診療を取り巻く課題についての内容で、かねてから議論されていた「あ・は・き療養費の受領委任制度」が平成30年10月から実施されることが決まり、それに併せて今後「不正対策」の準備が進められます。我々施術者側にも適正な申請が求められるため、往療、頻回施術、医師への再同意など療養費を取り扱う上での注意点について再確認が行われました。



その後は、（公社）日本鍼灸師会会長 仲野弥和先生も交えて、医師との信頼関係を築く交流の持ち方から広告制限、後進の育成まで業界の課題や最新の情報について意見交換が行われ、活発な研修会となりました。

(報告：学術委員長 奥田一道)

第8回臨床鍼灸スポーツフォーラムin三重

「スポーツ医・科学の最前線と医療連携」

(公社)日本鍼灸師会の学術事業に共催し、「医・科学トレーニングの最前線とチームマネジメントとしての環境整備、バレーボール元オリンピック選手からのメッセージと学生指導の課題、アンチドーピングにおける鍼灸の優位性とスポーツ現場での医療連携について、過去の現代の食事管理の違いや、アスリートの食事管理と選手生命の維持・延長と競技成績向上につなげる方法」の内容で行い、4講座終了後に行なった意見交換会では、講師の先生方に鍼灸を体験していただくなど和やかに行われ、次年度開催予定の埼玉県鍼灸師会の皆さんにバトンを渡した。

■ 講座1 「スポーツ医・科学の最前線～ここまで進んだコンディショニング&リカバリー」

日本体育大学・杉田教授（日本陸上競技連盟科学委員会委員長）から、アスリートの運動能力の「高速度化と高度化」が進んでおり、アスリートの進歩を支えるためには、強度の高い練習を数多くこなすトレーニングの「高強度化×高ボリューム化」が必要である力説された。さらに、こうしたトレーニングを行うためには、当然ながら疲労をどこまで回復できるかが重要な意味を持つことや、現在、マラソン、競歩をはじめ様々な競技団体でコンディショニング&リカバリーに取り組まれ、2020年東京に向けた暑熱対策にも精力的に取り組んでいることなど、として講演された。なお、杉田教授は四日市市ご出身で4月に三重大学から日体大に異動された。



杉田正明教授

■ 講座2 「わがバレーボール人生～チャンスを逃がすな！ スポーツとセルフケア」

市民公開講座として行った講座2は、元全日本男子バレーボール主将・ソウルオリンピック代表として活躍された米山一朋氏から、自身の学生時代から五輪出場に至るまでの経緯や、テレビで放送された出前コーチによる高校バレーボール選手たちの意識改革までたくさんの映像を使い、世界を経験されたトップアスリートならではの内容で講演された。



米山一朋氏

■ 講座3 「スポーツ現場における医療連携～痛みに対する整形外科的アプローチと鍼灸医処置の整合性と問題点～」

鈴鹿回生病院の藤澤先生からスポーツ現場の最大関心事はドーピング問題で、アンチドーピングにおける鍼灸処置の優位性や整形外科的アプローチの問題点をはじめ、整形外科疾患に対する処置と鍼灸治療点の類似や、スポーツ現場での医療連携まで、整形外科医の視点からユニークなアドバイスをいただいた。また、スポーツ選手の障害に対して、西洋医学的知識・能力と法制上の垣根を確認し、東洋医学的（鍼灸）概念・知識を共有しながら連携すれば、世界からも注目される素晴らしいスポーツ支援となり、特にアンチドーピングにおいて大きな意味をもつであろうと講演された。なお、藤澤先生のご講演は専門領域研修会以来23年ぶりである。



藤澤幸三先生

■ 講座4 「最新スポーツ栄養学とトップアスリートのバランス食～スポーツ選手の内臓バランスとは～」

名古屋女子大学の片山教授は、1964年の東京オリンピックにおいて世界のトップアスリートと戦う日本選手の姿に感動を覚え、また外国選手の体格の素晴らしさに驚きを感じたことを話された。そして再び訪れる2020年の東京オリンピックに向けて、今、選手の競技成績に関するあらゆる協力と努力が行われ、現在のスポーツ科学において過去と大きく違う点として「スポーツ選手の食事管理」があり、トップアスリートは専属の管理栄養士による本格的な栄養指導の下、毎食の食事を管理し、体重や体組成の測定値とともに比較検討することによって、トータルプランに従った栄養管理を行っていることなど多くのデータを基に講演された。



片山直美教授

平成29年度 学術研修会日程

(平成29年8月6日現在の予定です。演題・時間帯は変更になる場合があります)

日程・会場	演題(予定)
■青年近畿ブロック事業 8月27日(日) 会場：大阪ハイテクノロジー専門学校	大阪フェス前夜祭 特別講演会 (日本鍼灸師会近畿ブロック青年部) 「H o w T o 擦過鍼」 (有)吉村鍼灸院 院長 吉村春生先生 「スポーツ現場におけるアスレティックテーピング」 帝京平成大学健康医療スポーツ学部 准教授 奥河清先生
■第13回全国大会 10月8日(日)～9日(月・祝) 会場：マイドームおおさか	第13回 全国大会in大阪 近畿ブロックでは3回目の開催となる大会で、テーマは「大阪フェス～統医療の振興」。日本鍼灸師会ホームページ、鍼灸新報掲載のFAX申込み用紙で参加受付中です。
■第2回スキルアップセミナー 11月5日(日)	野外研修会 野外でBBQを楽しみながら、解剖学の研修を行います。
■第4回学術研修会 11月19日(日) ①11:00～12:40 ②13:20～14:30 ③14:50～16:20 *16:40～意見交換会	第51回 三県（愛知・岐阜・三重）合同鍼灸研修会in三重 ①「災害時における鍼灸会の取組みと活動の実際」 一般社団法人三重県鍼灸師会 会長 一見隆彦先生 一般社団法人和歌山県鍼灸師会 会長 萩野利赴先生 ②「災害時における医療連携」 ウィスコンシン医科大学教授 統合医療クリニック徳 院長 高橋徳先生 ③「災害発生～避難所でのチーム活動」(グループ別にしてのゲーム) ファシリテータ：IMTEFベーシック＆アドバンスコース受講者
■第5回学術研修会 12月10日(日) ①10:30～12:00 ②13:00～16:10 会場：三重県鍼灸会館	①認知症サポーター養成講座II 三重県健康福祉部 長寿介護課・医療介護連携班 下村孝枝氏 ②苦痛を抱える患者と向き合うためにII ～対人援助としての鍼灸と傾聴～ 三重大学医学部付属病院緩和ケアセンターがんセンター 松原貴子先生
■第6回学術研修会 1月14日(日)	内容未定(新年意見交換会と同日の予定です)
■青年近畿ブロック事業 3月10日(土)～11日(日)	鍼灸臨床「(公社)日本鍼灸師会近畿ブロック青年部一泊研修会」 (兵庫県鍼灸師会担当で開催・演題等内容未定)

平成29年度 県・市主催 健康関連イベント日程

(平成29年8月6日現在の予定です。開催が近づきましたら文書で案内します)

日程・会場	内 容
11月23日(木・祝) 会場：県立石薬師高校	第12回 子育て応援！わくわくフェスタ
12月3日(日) 会場：三重県営サンアリーナ	2017中日三重お伊勢さんマラソン (※フィールド実習として東洋療法研修試験財団生涯研修単位認定)
2月25日(日) 会場：安濃総合競技場	第13回津シティマラソン (※フィールド実習として東洋療法研修試験財団生涯研修単位認定)

「会報原稿」を募集しています。皆さんの投稿をお待ちしています
個人でのセミナー等受講印象記、それぞれの地域で取り組んだイベントなどを寄せください

2021三重とこわか国体に向けて～ランナーに大好評の鍼灸ケア

例年ないほどの強い寒波が日本列島に流れ込んで寒さに身を震わせる日が続きましたが、当日は暖かな天候の中、3000人のランナーたちが田園風景のコースを駆け抜けました。

毎年三重県内各地で行われる3か所レースにケア活動チーム「スポーツ鍼灸セラピー三重」を派遣しており、この日は8名のスタッフで、ケア会場に訪れた約100名のランナーに、レース前後の鍼（貼るタイプの鍼）をメインとして、ストレッチ・テーピング等のコンディショニングを行うとともに健康情報パンフレットの配布を行いました。

スポーツ現場では、「厚生労働大臣免許を持つプロ集団のケア活動」として、普段の臨床と比べて短時間、限られた方法という条件の中で、ランナーが訴えるさまざまな主訴に対し、問診、検査、説明、治療を行い、的確な方法でケアを行っていきます。

体調不良がレースの完走への不安感となっている場合もあり、「ケアで不安が解消でき、安心・気持ちよく走れそう」等の感想も多数あり、その対処法は現在本会事業として進めている“災害支援鍼灸師”の活動にもつながります。限られた条件の中で、傾聴して的確なアドバイス・ケア等行うための体験の場として非常に勉強になりますので、ぜひスタッフとして参加して下さい。



(報告：広報・普及委員長 楠原秀一)

地域イベントに参加をして積極的なアピールを！

昨年度より、名張市の体育協会の依頼を受け、個人的な活動として大会参加者へのケアを行っています。鍼灸師会で行う大規模なケア活動とは違い、スタッフ5名と小規模な活動ならではの和気藹々とした雰囲気の中で半日を終える事ができました。

私の地元の大会という事もあり、「こういう治療はどこに行けば受けられるの？」といった質問も多く、結果、大会関係者含め、多数の来院に繋がっています。鍼灸師会で行うさまざまな行事やイベントは、ボランティアや学習といった意識があるかと思いますが、実は最高の広報活動です。イベントを通じて関わった方を自院への来院に繋げるといった貪欲な意識で参加してほしいと思います。

皆様の地域でもさまざまなイベント（スポーツに限らず）が開催されていますが、そういうイベントに積極的に参加して、鍼灸をそして自院のアピールをして下さい。人員の要請や必要な備品の貸し出しもお問い合わせ下さい。

(寄稿：青年委員長 瀧本 一)

◆スタッフ募集！！ともに活動する仲間との普及活動◆

スポーツイベントのケア活動スタッフを募集しています。「私の鍼灸院にはランナーは来ないから」「経験が無いのでお役に立てないかも」といった声もありますが、まずは受付や誘導から、そしてケア活動の見学だけでもお気軽にご参加ください。

レース中の空き時間には、テーピング講習会や日頃の疑問を先輩鍼灸師に質問などできる有意義な時間を過ごすことができますので、院外に出て「スポーツ現場での実践」を経験して下さい。

また、この活動に参加しますと、東洋療法研修試験財団生涯研修制度の単位を取得できます。

古都奈良で研修2講座を終え兵庫県にバトンタッチ

恒例となっている毎年3月の研修会は、会場を古都・奈良に移して、奈良県鍼灸師会主催（会場：ホテルフジタ奈良）で開催されました。

初日は医療接遇教育デュクレ代表の仲内真弓先生をお招きして接遇に関する研修で、社会人として要求される言葉遣いやマナーから医療現場での細かな心遣いなど、基本となる知識と先生の実体験を基に



仲内真弓先生の講義風景

した事例から学ばせていただきました。

2日目は群馬県鍼灸師会副会長の田中一行先生（現会長）による美顔鍼の講



田中先生の実技風景

習と実技供覧で、鍼灸の普及啓発の入り口となるツールとしての「美顔鍼」の紹介とその作用機序、期待される効果などを詳細にご解説いただき、被験者を募っての実際の施術を披露されました。

被験者2名の直後効果に参加者一同驚きの声が上がり、施術の内容と機序について改めて理解を深めることができました。

平成29年度の一泊研修は兵庫県にて開催の予定です。新たな知見を得て他府県の鍼灸師の先生方と交流を深めることができる絶好の機会です。ぜひ奮ってご参加ください。

（報告：前青年委員長・学術委員長 奥田一道）



参加者一同

第1回日系統合医療シンポジウム

2017.7.17(月) 京都大学・稻盛財団記念館

日本とキューバ協和国との関係学会が学術交流

日本統合医療学会の主催のシンポジウムは、統合医療先進国であるキューバから研究者を招聘し、学術交流の進行をはかる目的で東京大学・京都大学の2会場開催され、生体エネルギー・自然医療学会は記念すべき第1回シンポジウムは東京大学と京都大



学の2会場で開催され、「両国の研究状況、政策、社会の高齢化、災害」の各演題について講演が行われた。

第2回は来年9月にキューバ



京大構内のレストランでの懇親会風景で開催する予定。

この日は猛暑日であったが、三大祭りの一つ、祇園祭の前祭・山鉾巡行があり、23基の山鉾が都大路を飾って沿道には多くの人がつめかけて大いに賑わった。

（報告：会長 一見隆彦）

平成28年度－29年度 理事会報告

第3回 [2月12日(日) 13:00~17:20]

【出席者】10名【欠席】1名

【協議事項】

- 第1号議案 第8回臨床鍼灸スポーツフォーラム開催申請の件
第2号議案 対外行事出席調整の件（ユマニテク・中和卒業式及び祝賀会、医師会等）
第3号議案 四日市健康フェスティバル準備の件
第4号議案 その他の件（1）会員施術所一覧記載条件等の件（2）会員異動（転居）の件

【審議事項】

- 第1号議案 平成29年度事業計画案（日程案を含む）及び予算編成案に関する件
第2号議案 平成29年度学術研修会講師の件
第3号議案 第8回臨床鍼灸スポーツフォーラムの件
第4号議案 規程整備確認（旅費規程日当・内規・職員就業規則）の件
第5号議案 災害支援鍼灸師登録及び災害時緊急体制についての件
※第2号議案継続審議、第6号議案該当議案なし。
以外の議案は承認。

第1回 [5月14日(日) 13:30~16:00]

【出席者】10名【欠席】1名

【協議事項】

- 第1号議案 29年度総会までのタイムスケジュール確認の件

【審議事項】

- 第1号議案 平成28年度事業報告及び決算の件
第2号議案 平成28年度公益目的支出計画実施報告書の件
第3号議案 平成29年度定時会員総会の件
第4号議案 平成29年度任期満了による役員改選の件
第5号議案 役員改選後の理事会招集の件
第6号議案 平成29年度総会意見交換会の件
第7号議案 定款変更に関する件
第8号議案 平成29年度日本鍼灸師会定時代議員総会に関する件
第9号議案 その他の件（1）個人情報保護法の件（2）施術所における広告制限の件（3）29年度事業予定の件（以上、承認）

第4回 [3月19日(日) 13:00~16:15]

【出席者】9名【欠席】2名

【協議事項】

- 第1号議案 29年度総会までのタイムスケジュール確認の件
第2号議案 平成28年度事業報告の件
第3号議案 その他の件（1）災害支援鍼灸師登録の件

【審議事項】

- 第1号議案 平成29年度事業案（日程案含む）の件
第2号議案 平成29年度予算案（学術研修受講料・外部研修参加等含む）の件
第3号議案 55周年記念式典補正予算の件
第4号議案 職員就業規則整備・確認及び臨時職員採用条件の件
第5号議案 継続審議事項及び議案上程の件（1）療養費管理システムソフト契約の件（2）津市福祉助成の件
第6号議案 その他の件（1）鈴木聰氏（鈴鹿医療科学大学）入会の件（2）辻岡芳樹氏入会の件（3）団体補償プランの件
※第5号議案（2）継続審議、それ以外の議案は承認。

第2回 [6月18日(日) 15:30~15:50]

【出席者】11名

【審議事項】

- 第1号議案 代表理事選定の件
第2号議案 平成29年度新理事役職の件
業務執行理事（岡田、新谷、天野、楠原、奥田）、副会長（岡田、新谷）、各事業担当は法人管理総務担当：岡田、法人管理財務担当：新谷、保険委員長：天野、広報・普及委員長：楠原、学術委員長：奥田、組織委員長：森田（保険副委員長兼任）、共済委員長：加藤、青年委員長：瀧本（広報・普及副委員長兼任）（以上、承認）

第3回 [8月6日(日) 13:00~17:00]

【出席者】11名【欠席】なし

【協議事項】

- 第1号議案 役員交代による業務引きつき等の件
第2号議案 第2回スキルアップセミナーの件

【審議事項】

- 第1号議案 第8回鍼灸臨床フォーラムin三重準備の件
第2号議案 平成29年度（公社）日本鍼灸師会事業の件
(第13回全国大会・部長会議・近ブロ青年部主催全国大会前夜祭・JIMTEF災害医療研修・近畿ブロック会議)
第3号議案 第12回わくわくフェスタ（鈴鹿市）の件
第4号議案 フェイスブック立ち上げの件
第5号議案 その他の件（1）理事会日程調整の件（2）第51回三県合同鍼灸研修会開催の件（3）四日市税務署からの要請の件（4）広告制限の件（5）個人情報保護法改正の件

（以上5回の理事会はすべて三重県鍼灸会館で開催）

県民の皆さまの健康をサポートする“新しい仲間”を紹介します！

Q1. 施術所名 Q2. 出身校 Q3. 免許取得年月 Q4. 目指す鍼灸師像



鈴鹿支部 鈴木 聰 (平成29年4月26日入会)

A 1. 鈴鹿医療科学大学

A 2. 明治国際医療大学

A 3. H8年5月

A 4. 鈴鹿医療科学大学と三重大学で鍼灸治療に携っています。診療の知識と技術の重要性は言うまでもありませんが、その前段階である衛生管理や操作の大切さを教員である立場から、鍼灸師を目指す学生に伝えたいと思います。貴会所属の先生方からもご指導いただき、会の発展に貢献できればと思っています。



四日市支部 大矢了子 (平成29年5月26日入会)

A 1. 大矢鍼灸接骨院

A 2. 中和医療専門学校

A 3. H29年5月

A 4. 様々な勉強会に参加して、色々な視点から物事が捉えられるようになって、地域に根ざした鍼灸治療ができたらと考えています。



桑名・いなべ支部 辻岡芳樹 (平成29年4月12日入会)

A 1. かがやき鍼灸接骨院

A 2. 森ノ宮医療専門学校

A 3. H25年5月

A 4. この一瞬を大事にして頑張ります。



伊勢・鳥羽支部 小倉智秀 (平成29年5月25日入会)

A 1. 東洋医学でぐち鍼灸院

A 2. ユマニテク医療福祉大学校

A 3. H29年3月

A 4. 東洋医学と西洋医学を上手く繋いで話せる治療家になりたいです。

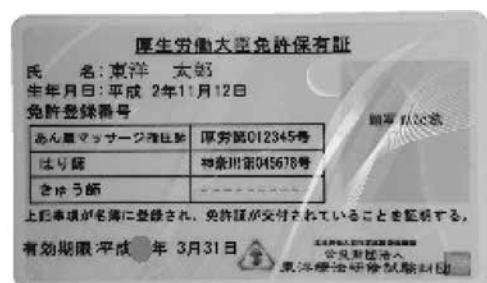
新入会4名の皆さんのご活躍を期待しています。(本誌発行時の会員数は103名)

「厚生労働大臣免許保有証」、有効活用していますか？

マスコミ等でご存じだと思いますが、消費者庁や国民生活センターから配信される無資格者による手技による事故等の被害が増加の一途をたどっています。

その被害を防ぐために患者の皆さんか、はり師・きゅう師のように「国家資格（免許保有者）保有者」と、「無免許（無資格）者」を区別できる有効なツールです。保有している方は、カードケースに入れっぱなしではなく、白衣の胸ポケットに付けて患者の皆さんができるように提示してください。

今年度も会員と県内在住の会員外鍼灸師から申請がありました。皆さん自分で「保有証を見える化」して有効に活用して下さい。



(公社) 日本鍼灸師会 第13回全国大会in大阪「大大阪フェス」

大阪で2回目となる全国大会のテーマは「大大阪（だいおおさか）フェス」、サブテーマは「伝統医療の振興」。

プログラムは日本鍼灸師会のホームページに情報があり、インターネットだけでなくFAXでの受付も始まっています。大会まであと6週間となりましたので、事前申請はお早めにお願いします。

- 大会初日（10月8日）の開会式後の特別公開講座「統合医療の未来：Integrative Medicine（医療モデル）からIntegrative Health（社会モデル）へ—超少子高齢・人口減少社会と災害を生き抜き、持続可能な日本社会を創るために—」は、片山さつき参議院議員、大阪がん循環器病予防センター・伊藤壽記所長、未来工学研究所・小野直哉主任研究員が講師で、座長は日本鍼灸師会仲野会長（本会元会長）です。
- 大会2日目（10月9日）には以下の「府民公開講座1～3／1F会場」を行い、9:00～10:30の府民公開講座1「認知症サポートー養成講座」に参加して「オレンジリング」をゲットしましょう。また、10:40～12:10の府民公開講座2「人は愛することで健康になれる」は、米国ウィスコンシン医科大学教授高橋徳先生にご講演いただきますが、今年本会が担当する三県合同鍼灸研修会でもご講演いただく予定です。さらに13:00～15:40の府民公開講座3「鍼灸海外事情&お灸フェス」も注目すべき内容です。

【受付】日本鍼灸師会ホームページから受け付けております。FAX用紙は鍼灸新報にあります。

【詳細】http://www.harikyu.or.jp/pdf/13th_zenkoku_oosaka.pdf

フェイスブックページを開設しました

三重県鍼灸師会では、会員や県民の皆様に向けた情報発信、交流の場として、フェイスブックページを作成しました。研修会情報や業界の動きをリアルタイムでお知らせしていくので、アカウントをお持ちの方は「いいね！」の登録をお願いします。フェイスブックをお使いでない方も「三重県鍼灸師会 フェイスブック」と検索していただければ、ページの内容をご覧になれます。また、会員の皆様が企画されたイベントや発信したいことなどを、お知らせいただければ投稿します。会員のみならず、地域の皆様との交流の場になれば幸いです。



(公社) 日本鍼灸師会「卒後フォローアップセミナー」（予告）

平成30年3月4日（日）に東京近郊開催で準備が進められています。参加資格は「新卒者・会員及び一般鍼灸師並びに過去の臨床研修受講者」です。詳細情報は、学術講習会案内やホームページなどでお知らせします。

平成30年度「第67回（公社）全日本鍼灸学会学術大会」は大阪で開催です！

来年の6月2日（土）～3（日）の2日間、「健康・長寿を支える鍼灸医学～新たなるエビデンスとナラティブへの挑戦～」と題して、2か所の会場（ハイアットリージェンシー大阪と森ノ宮医療大学）において「全日本鍼灸学会学術大会 大阪大会」が開催されます。本県からは近くで便利ですので、奮ってご参加下さい。

いつ起こるかわからない「災害」、万一に備えた組織としての危機管理体制 三重県鍼灸師会「災害支援鍼灸師」への登録について

昨年度より進めてまいりました「災害支援鍼灸師」の登録は、希望されない会員は辞退届を提出していただく方法を取り、辞退申し出以外の会員を「災害支援鍼灸師」として登録しました。

■ 災害時への準備

災害医療に対する関心度が高まっていることは日本鍼灸新報の記事でご存じのことと思いますが、三重県は南海トラフによる大規模被害が想定されるきわめて危険な地域です。近畿ブロックでは阪神淡路大震災以降、毎年のように協議を行って連携体制をとり、本会は（公財）国政医療技術財団（JIMTEF）の研修、日本鍼灸師会災害支援鍼灸師養成講座にも会員を派遣して準備を整えております。

■ 災害支援鍼灸師とは

はり師・きゅう師の技術を生かし、災害被災者が健康を害することなく健康レベルを維持できるよう、被災地で適切な医療やケアを提供する役割を担う鍼灸師のことで、災害発生時に避難所等に出向き、被災者の皆さんの支援活動を行うことができる一定要件を備えた鍼灸師のことです。

■ 今年度、本会が担当する「第51回三県（愛知・岐阜・三重）合同鍼灸研修会は、災害時に鍼灸師は何をすべきかの内容で開催準備を進めていますので、奮って受講して下さい。



「16連房登り窯」(伊賀市)

四日市の萬古焼と並び三重県を代表する焼き物の産地「伊賀焼」。良質な陶土と登り窯に最適な赤松が豊富で、古来より焼き物が盛んな地域です。

伊賀焼窯元長谷園では、天保3年（1832年）の創業当時から近年までこの登り窯が稼働し、現存するこの規模の登り窯は日本唯一と言われています。

「器は偉そうに表に出るものじゃない」。伊賀の窯元の人たちが口にする言葉です。使う人の立場に立った心遣いに溢れかつ、個性的で大胆な作風は、われわれ鍼灸師の仕事にも通じるものがありそうです。（T）

編集後記

第120号より会報の編集に関わることとなりましたが、いただいた文章を、その人の想いに寄り添いながら会報という形に仕上げていく作業は面白くもあり、頭を悩ませることもしばしばです。

誰のために、何のために、何をどのように伝えていくのか・・・。

正直に言うと、私自身、今まで会報を熟読したことがありませんでした。今回編集作業に関わるにあたり、過去の会報を読み込んでいくと、寄稿・編集に関わった皆さんのがドッと溢れてきて、過去から未来へ受け継ぐこの作業の「重み」を感じています。（T）

一般社団法人三重県鍼灸師会 会報第120号（平成29年8月30日発行）

発行者 一般社団法人三重県鍼灸師会 会長 一見隆彦

〒514-0004 三重県津市栄町二丁目325番地

T E L 059-227-3345

e-mail harikyu_mie@vesta.ocn.ne.jp

発行責任者 楠原秀一（広報・普及委員長）・瀧本一（広報・普及副委員長）

制作・印刷 伊藤印刷株式会社

表紙写真提供 伊賀焼窯元 長谷園



10 OCTOBER
2017

8sun.・9mon.



第13回 (公社)日本鍼灸師会

全国大会 in 大阪

大阪フェス

～ 伝統医療の振興 ～

参加費

	【事前申込】	【当日申込】
会 員	7,000円	10,000円
一 般	10,000円	12,000円
学 生	3,000円	5,000円

会 場

マイドームおおさか
大阪市中央区本町橋2番5号
☎ 06-6947-4321

事務局

公益社団法人 大阪府鍼灸師会
大阪市北区松ヶ枝町6-6
☎ 06-6351-4803

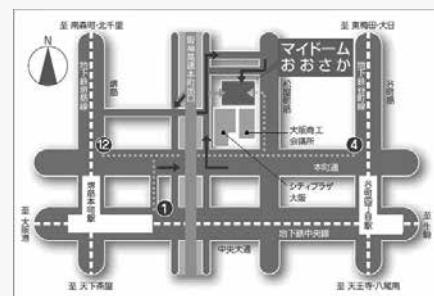
- 主 管 : (公社) 日本鍼灸師会近畿ブロック
- 主 催 : (公社) 日本鍼灸師会

■ 後 援 団 体

厚生労働省・日本医師会・大阪府・大阪市・大阪府医師会・全日本鍼灸学会

東洋療法研修試験財団・東洋療法学校協会・大阪府地域医療推進協議会

大阪府鍼灸マッサージ師会・鍼灸保険協会大阪・大阪介護支援専門員協会



大阪市営地下鉄中央線および堺筋線の「堺筋本町」駅①、②番出口から徒歩7分
大阪市営地下鉄谷町線「谷町四丁目」駅の④番出口から徒歩7分

日本初の4年制医療系大学

そして、医療・福祉の総合大学へ



保健衛生学部

鍼灸サイエンス学科*
放射線技術科学科
医療栄養学科 管理栄養学専攻*
医療栄養学科 臨床検査学専攻*
理学療法学科
医療福祉学科 医療福祉学専攻*
医療福祉学科 臨床心理学専攻*

医用工学部

臨床工学科
医用情報工学科

薬学部

薬学科

看護学部

看護学科

大学院

薬学研究科 医療薬学専攻
医療科学研究科 医療科学専攻
・名古屋サテライト（社会人コース）
・東京サテライト（社会人コース）

*平成30年4月より当名称に変更予定



SUZUKA UNIVERSITY OF MEDICAL SCIENCE
鈴鹿医療科学大学

三重県鈴鹿市岸岡町1001-1 TEL059-383-8991(代表)

三重県鍼灸師会の皆様へ

東京海上日動のトータルアシストからだの保険(所得補償)

所得補償はケガや病気で働けない期間
あなたの所得を補償する保険です。



業務中・日常生活を問わず補償

業務中はもちろん、レジャーや海外旅行中の
ケガ・病気で仕事を休まれた場合、保険金をお支払いします。



入院はもちろん自宅療養(※2)もカバー

(※2) 入院のみ補償特約をセットした場合は入院のみが対象となります。

治療のために入院していること、または入院以外で医師の治療を
受けていることにより、全く働けない場合に保険金をお支払いします。

保険期間1年

保険金額(日額)		お支払いいただく保険料					
所得 補 償	1日あたり5,000円 (免責日数7日) (てん補日数365日)	ご契約年 齢 お支払い方法	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳
		月払	2,720円	3,250円	3,770円	4,030円	4,240円
		年払	31,090円	37,110円	43,040円	46,050円	48,440円

上記はご契約パターンの一例です。これ以外のパターンをご希望の場合は代理店にご照会下さい。

※ご契約年齢は、被保険者(保険の対象となる方)の保険期間開始時の満年齢をいいます。

※所得補償保険金額(日額)は、年間所得額に応じて設定ください。

「被保険者様が加入されている公的医療保険制度(国民健康保険またはそれ以外)によって保険金額の設定が異なります。」

無事故戻し返れい金のお支払いはありません。(2013年10月改定)

ご加入の際、医師の診査は不要です

健康状態告知書にあなたの健康状態を正しくご記入いただければOKです。
(ご記入いただいた内容によっては、ご加入をお断りしたり、弊社の提示するお引受け条件によってご加入いただくことがあります。)

「トータルアシストからだの保険(所得補償)」は傷害総合保険(所得補償条項)のペットネームです。

ご契約にあたっては必ず『重要事項説明書』をよくお読み下さい。

また詳しくは『ご契約のしおり』をご用意しておりますので、必要に応じて、代理店にご請求ください。ご不明な点等がある場合には代理店までお問い合わせ下さい。

(お問い合わせ先)

◇取扱代理店

株式会社あつこ保険事務所 代表取締役 奥井 あつ子

〒510-0085

四日市市諏訪栄町5-16-2F

Tel/Fax 059-350-2433

◇引受保険会社 東京海上日動火災保険株式会社

担当支社 四日市支社

〒510-8515

四日市市鵜の森1-3-20 萩ビル6F

Tel 059-354-8613

2017年6月作成

17-T02636

日本最大級 東洋医療機器ショールーム

ITO MEDICAL

イトウメディカル



『みて・さわって・なつとく』出来る
ショールームって知っていますか？



500台以上ベッド在庫あり!!

《気に入ったベッドをその場でお持ち帰り頂けます。》
ベッドやマクラの質感が実感出来ます！

ベッド・マクラコーナー

ディスポ針・豪鍼・灸用品・
パルス・衛生材料・治療院設備など

見た事のない商品が手に取って確認できます。



鍼・もぐさ・小物コーナー



鍼灸・指圧・マッサージ・カイロ・整体・柔整など
東洋医療専門書が 販売用500冊以上！

手に取って中が確認でき その場で購入可能！
出版社によって 10%offの本もあります。

《医道・たにぐち・エンタープライズetc》

ライブラリーコーナー

こんな企画も…

=ご来店頂いた方に感謝して=

毎月10日 全品10%off

注)10日に来店された方のみです。

JR岐阜駅・名鉄岐阜駅より 徒歩約8分

是非、この機会にご来店下さい。損はしません。

イトウメディカル

〒500-8841 岐阜市高野町5-18

TEL (058)266-4598 FAX (058)266-7060

URL <http://itohari.com/>

E-mail ito.hari@tiara.ocn.ne.jp



イトウメディカル
駐車場完備

月に2回、日曜日も営業しています。
アクセス方法、営業日等ホームページ又は
お電話にてお問い合わせ下さい。

**TAKARA
BELMONT**

TAKARA BELMONT Examination Table

SJ series

長年培った技術と、ニーズに応じたオリジナル機能で定評のあるタカラベルモントの電動診察台。様々な診療スタイルに対応する高機能はしっかりと受け継ぎながら、さらにお求めやすい価格でご提供いたします。

電動モータ式診察台

SJ-100



本体の剛性を重視した設計で
様々な診療スタイルに対応

電動油圧式診察台

SJ-200



手術台と同じ昇降機構を
採用した堅牢タイプ

有孔天板（孔クッション付）
※別途費用が必要です。

販売名：診察台 SJ-200
製造販売届出番号：28B1X00012000014

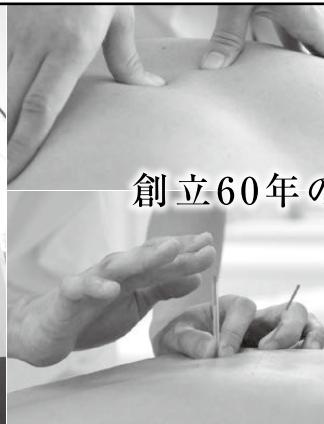
タカラベルモント株式会社

<http://takarabelmont.co.jp>

メディカル名古屋営業所

名古屋市東区芳野1-15-7

TEL:052-931-5163 FAX:052-931-7235



創立60年の歴史と実績

厚生労働大臣認定・愛知県知事認定・指定 学校法人 葛谷学園



中和医療専門学校

Chuwa Professional Training College of Medical Care

医療専門課程
(修業年限3年)

あん摩マッサージ指圧・はり・きゅう科
はり・きゅう科
柔道整復科 I 部 (9:10~14:30)
柔道整復科 II 部 (15:00~19:50)

詳しくはホームページや携帯サイトをご覧ください。

中和医療

検索



スマートフォンからのアクセスはこちら ▶

picorina

ピコリナ

鍼電極低周波治療器 セイリン picorina
管理医療機器(特定保守管理医療機器)(クラスII) 医療機器認証番号 229AABZX00058000

往診でも持ち運びが便利な軽量・コンパクト設計

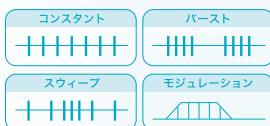
治療状況に左右されない
安定した治療電流を供給
定電流出力方式

チャンネルごとに
異なる設定で
治療ができる
2CH 独立出力



出力微調整で
やさしい治療を実現
FINEモード

治療目的ごとに使い分けできる
**4種類の
出力モード**



設定の手間を省けて効率的
**プログラム
保存機能**

使いやすいタッチパネル
& ロータリーエンコーダー



公式キャラクター りんちゃん

本体仕様【定格電源】①本体:DC3.7V(リチウムイオン充電池)、DC5.9V(ACアダプタ) ②ACアダプタ:AC100V 50/60Hz【定格消費電力】12VA【出力電流】最大1mA以下(実効値)【出力電圧】最大10V±20%(ピーク値、500Ω負荷)【出力周波数】最大100Hz【タイマー】30分±5%【電撃に対する保護の形式と程度】クラスII及び内部電源機器、BF形【サイズ】(H)140×(W)69.4×(D)21.8mm【重量】160g(リチウムイオン充電池含む)